

# 外面レーザー彫刻 完全版下データ作成ルール

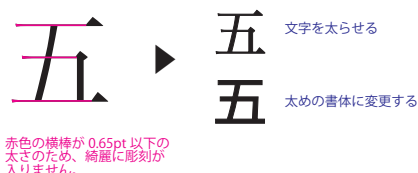
- ・「ドキュメントのカラーモード」を「RGBカラー」に設定してください。
- ・RGB=0%の黒色で文字、パス、オブジェクトを作成して下さい。
- ・文字とパスは全てアウトライン化をして下さい。
- ・名入れ範囲図の外形線はそのまま残してご使用下さい。＊外形線はアウトライン化しないでください。
- ・ガイド枠の内側が彫刻可能範囲です。彫刻内容は必ずガイド枠内に収めて下さい。
- ・画像データは彫刻ができない為、ライブトレース等の機能を使ってパス化して下さい。

クリッピングマスクは使用不可

縮尺は 1/1 で作成する。

黒色部分が彫刻箇所となります。  
彫刻幅はパス上で 0.65pt (0.23mm) 以上の太さになるよう調整をお願い致します。  
0.65pt

データ調整例



ガイド枠内に  
収まるようレイアウトする。

2021  
resident Award  
五十嵐 真護 殿

2021年3月22日

Sugahara

代表取締役社長  
菅原 健一

パスと文字はアウトライン化  
してください。

データ調整例



Eco Seed co.,ltd.



Eco Seed co.,ltd.



Eco Seed co.,ltd.

彫刻部分（黒色部分）で囲まれたぬき部分（白色部分）は  
パス上で 1pt (0.35mm) 以下の太さにならないよう  
調整をお願い致します。

1pt

カラーのロゴ、ロゴマーク、  
イラスト等は黒 1 色に変換する。  
＊グラデーション表現はできません。  
＊画像データはパス化する必要があります。

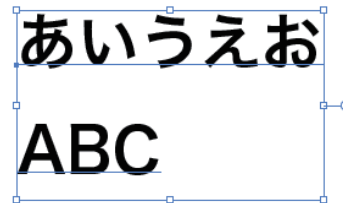
# 文字のアウトライン化について

フォント（図1）を、パスで構成されたオブジェクト（図2）に変換することです。文字のアウトライン化をすることで、フォントの情報が破棄され文字が図形化されます。これにより、例えば「A」というフォントを使用して作成したデータを、「A」というフォントがインストールされていない別のPCでデータを開いた際にも、文字の形が変わってしまう事を防ぐことができます。

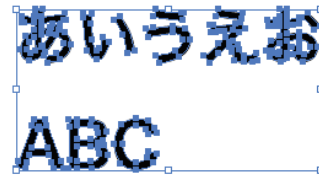
一度アウトライン化したフォントは、元に戻すことができません。アウトライン化した場合は必ず別名保存して、手元にあるアウトライン前のデータを保管されることをお勧め致します。

文字が選択された状態で、メニューバーから「書式」→「アウトラインを作成」をクリックすることで文字がアウトライン化されます。（図3）

文字を太らせた場合は、「文字のアウトライン化」の後に「パスのアウトライン化」もして頂きますよう、お願い致します。



（図1）フォント



（図2）パスで構成されたオブジェクト



（図3）アウトラインを作成

# パスのアウトライン化について

線オブジェクト（図4）を、塗りのオブジェクトに変換することです。パスのアウトライン化をすることで、パスの情報が破棄されパスが図形化されます。（図5）

一度アウトライン化したパスデータは、元に戻すことができません。アウトライン化した場合は必ず別名保存して、手元にアウトライン前のデータを保管されることをお勧め致します。

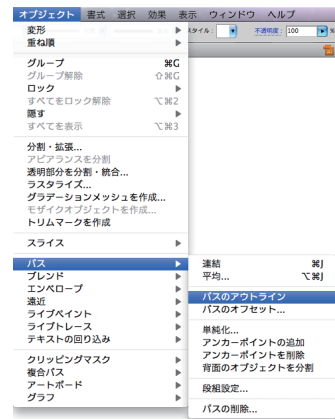
パスが選択された状態で、メニューバーから「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」をクリックすることでパスがアウトライン化されます。（図6）



（図4）線オブジェクト  
線：RGB=0%となっています。



（図5）パスのアウトライン化後  
（線：RGB=0%が、塗り：RGB=0%に変換されます。）



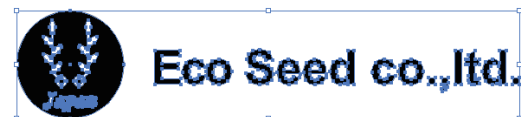
（図6）パスのアウトライン

# 画像のパス化について

画像データは、そのままの状態では彫刻ができない為画像（図8）を、パスで構成されたオブジェクト（図9）に変換する必要があります。イラストレーターのライブトレース機能や、ペンツールで直接トレース頂き、データのご作成をお願い致します。また、カラーデータの場合は合わせて、RGB=0%の色設定に変更をお願い致します。



（図8）画像



（図9）パスで構成されたオブジェクト